



**進む千曲川沿いの堤防工事と河川防災ステーションの予定地として
翌月に伐採される天王宮の大木【日本 長野】**

本号の記事

■ 日本

▼長野：長沼地区復興まちづくり支援一ステップ3「まちを知る」へ

▼講師派遣：

- ①外務省主催 日本・モンゴルフォーラム合宿研修
- ②北海道教育大学附属釧路義務教育学校8年生向け授業
- ③第74回山形県海洋教育研究協議会

■ フィリピン

▼台風22号 ライ（現地名オデット）被災校へのクリーンアップキット
供与/貸与、被災校の状況調査 事業完了のお知らせ

■ ミャンマー

▼子どもたちの教育継続支援の実施とご協力をお願い（継続）

日本

長野：長沼地区復興まちづくり支援一ステップ3 「まちを知る」へ

10月13日を迎え、令和元年東日本台風（19号）から3年が過ぎました。被災を経て、今年度から長沼地区ではまちづくり委員会が発足し「ホームタウンながめま」と呼ばれるまちづくり計画の策定・改訂に取り組んでいます。

長沼地区では、被災によって約150名の人口が一気に流出しました。急速な人口減少を一例として、被災が無ければ数十年後に想定していたまちの課題が、一気に噴出する状況が見られます。一方、被災によって世代を越えた人のつながりの貴重さや長沼城の発掘など、まちの魅力を再発見することになったことも事実です。このようなまちの魅力や課題について、分科会で話し合いが進み、合計360項目に及ぶまちの課題と魅力が抽出されました。SEEDS Asiaは、こうした話し合いのステップやツールを提供する他、分析・まとめのお手伝いをしています。今回は、「トンボのメガネ」として4つの資源分類×各資源を9項目に分類化（36項目）し、改めてまちを分析し、次のビジョンの策定や施策の検討へとつないでいきます。



講師派遣： 外務省主催「日本・モンゴル学生フォーラム」合宿研修

9月23日～25日にかけて、外務省主催「日本・モンゴル学生フォーラム—自分と未来は変えられる 日モの学生でSDGsを考えよう—」の合宿研修が那須高原で開催され、講師として事務局長の天津山光子が「防災」チーム（13名：モンゴルからの留学生4名、日本人学生9名）のワークショップを担当いたしました。

日本・モンゴルの学生さんが共通の課題として感じていた「気象や災害に関わる情報の分かりにくさ」。中心課題を選択してから両国の学生さんは、問題の木：Problem treeの分析ツールを使って深く掘り下げ、PDM（Project Design Matrix）に落とし込み、自分たちで取り組んでいける実践的な解決策を計画していきました。どう表現すれば、課題とする「気象や災害に関わる情報の分かりにくさ」を解決し、防災意識の向上や防災行動につなげていけるのか、今後の活動がとても楽しみです。

本フォーラムでサブテーマとして掲げられていた「自分と未来は変えられる」のとおり、まさに「目指したい未来」に向けた小さな実践を、国籍を越

えたチームみんなで積み重ねていくきっかけになったのではないのでしょうか。実際のアクションがこれから始まり、持続していくことを願って止みません。

北海道教育大学附属釧路義務教育学校（8年生向け授業）

9月28日と10月7日の2日間、北海道教育大学附属釧路義務教育学校の8年生の授業で、SEEDS Asiaがゲスト講師として登壇しました。この授業は、北海道教育大学附属釧路義務教育学校の先生方が「防災を通じて世界に目を向けた授業がしたい」とJICAに相談されたところ、SEEDS AsiaがJICAの草の根技術協力事業にてフィリピンの学校防災プロジェクトを展開してきたご縁で実現しました。

1回目の授業では「日本の国際協力としてSEEDS Asiaでは防災事業をしているらしいけど、どんな内容だと思う？」と問いかける先生に対し、生徒は「建物を強くするのかな」という回答を挙げていました。そこで「SEEDS Asiaでは、人づくりを大切にしています。人づくりとは、建物がなくなった時でも瞬時に避難の判断や助け合いができることを意味します」と、阪神・淡路大震災の教訓である自助・共助の大切さを伝えました。生徒からも「建物を強くするにも人づくりが必要ではないか？」というコメントがありました。

2回目の授業は、1回目を踏まえての質疑応答セッションでした。SEEDS Asiaの有馬がフィリピンで感じた「やりがい」や「辛かったこと」、なぜSEEDS Asiaで仕事をしているのか、など、国際協力・防災分野で働くことへの興味がうかがえる質問が多いように感じられました。そして、「私たちに何ができますか」という大切な問いをくれた生徒への返答として、「世界の出来事を他人事ではなく自分事として考えて欲しいです。自分が持つ特権を自覚し、他の人の立場で考えられるようになることと、批判的に物事を捉えること、そうすることで社会的構造により弱い立場にある人たちを取り残さないことが重要です。例えば今回の話を聞いて、フィリピンの防災について詳しくなったように感じるかもしれませんが、フィリピンに行って現地の方々の話を聞いたら全く違う話が聞けるかもしれません、誰かが言ったことが全て正解だと思わないことも大切です」という考え方を共有しました。

今回強調した「人づくり」の大切さですが、この授業そのものも未来の担い手を育む人づくりとなったことを願います。素晴らしいご機会を下さった北海道教育大学の天津和子教授、北海道教育大学附属釧路義務教育学校の先生方、生徒の皆さん、JICA関西に感謝申し上げます。



第74回 山形県海洋教育研究協議会

10月19日、山形県海洋教育研究協議会が山形県立加茂水産高等学校（山形県鶴岡市）にて開催され、理事の及川幸彦氏（奈良教育大学准教授）と事務局長の大津山光子が出席しました。理事の及川氏からは、それぞれの研究発表を踏まえた講評がおこなわれ、大津山光子からは「災害に負けない人づくり・まちづくりーアジアと日本の現場からー」というタイトルの下、地球規模の共通の課題に対しNPO/NGOがどのようにそれぞれの地域や学校と連携し、防災や復興まちづくりを行っているか、活動の紹介をおこないました。参加者は、鶴岡市教育委員会教育関係者、保育園から小中学校そして加茂水産高等学校の教員の方々、各分野のNPO、メディアや商工会・青年会議所、加茂水族館や警察を含めた日々の安全の担い手等、「海洋」をキーワードにつながる幅広いネットワークが特徴的な研究会で、協働によるダイナミズムを垣間見ることができ、k講演に何う立場でありながらも、分野を横断する連携の形として非常に学びの多い機会となりました。本研究会にお招きいただきました山形県海洋教育研究協議会の皆様、お声がけいただいた山形県加茂水産高等学校の佐藤先生に深く感謝を申し上げます。



フィリピン

▼台風22号 ライ（現地名オデット）による被災児童・生徒の教育機会の確保に向けた支援を展開しています。

被災地への緊急支援、復旧・復興支援

※本活動は個人寄付並びにジャンプラットフォームの支援により実施しています。



「学び舎をみんなで取り戻そう！」台風22号 ライ（オデット）被災校へのクリーンアップキット貸与/供与・被災校の状況調査 事業終了の御礼

12月にフィリピン中部を襲った台風オデットによる復旧・復興のため、SEEDS Asiaは有志の方々によるご寄付とジャパン・プラットフォーム（JPF）の緊急支援プログラムにて事業を開始し、電力が途絶えた学校への発電機や、未だに校内に倒木や瓦礫などが散乱し授業の再開に課題を抱える

学校へのクリーンアップキットを供与してきました（一部機材は貸与）。本事業を通じて、対象校では教育省地区事務所が被災校の状況を把握し、授業再開に向けた目途が立てられるようになりました。

具体的には、被災し電力が回復していない学校に発電機を配備したことで学校の事務能力が回復し、新型コロナウイルス感染拡大対策中に展開された自宅学習用の教材を印刷したり、被災した児童生徒の状況を学校から直轄の教育省地区事務所へ逐一報告したりできるようになりました。さらには、校内のがれきや倒木を撤去するクリーンアップキットを貸与し、事業実施期間中に作業を要した105校にて復旧作業を展開することで、これらの学校にて授業再開の見通しが立つようになったことが事業の大きな成果です。

被災直後から多くの方々にご支援・ご協力を賜りました。被災校の復旧・復興の活動ができたこと、多くの子どもたちが学ぶ意欲を取り戻していることに、心より感謝を申し上げます。

2022年9月15日をもちまして2021年台風22号/ライ（オデット）支援を終了とさせていただきます。ご支援を頂いた皆様、本当に有難うございました！



ミャンマー

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保に向けた支援を開始します。

被災地への緊急支援（個人寄付・団体寄付募集中）



子どもたちへの教育継続支援実施と協力をお願い（継続）

ミャンマーでは、コロナ禍と政情不安の中、約2年間にわたり学校が閉鎖していました。このままでは、貧困の深刻化など、潜在的な社会課題が大きく膨らみ、より災害に脆弱な状態に陥ることが懸念されます。

長期的な視野に立ち、ミャンマーの未来と「学びたい」という子どもの希望を、温かいお気持ちで支えてくださいますよう、どうぞ、皆様お力添えの程、宜しくお願い申し上げます。

[詳細記事はこちら](#)

バックナンバーを読む

アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。

寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも

ご寄付額に応じて税法上の優遇措置（税額控除対象）を受けることができます。

皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

▼緊急支援に賛同する

銀行振り込みの他、クレジットカードによるオンライン決済、携帯電話料金との同時引き落としも可能です。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

銀行振込

三井住友銀行 岡本支店
口座番号：普通 0571188
口座名義：特定非営利活動法人SEEDS Asia

郵便振込

口座番号：00960-7-207240
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia <トクヒ> シーズ アジア

オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による [CANPAN](#)（オンライン決済のページ）、あるいは [ソフトバンクのサイト](#)にてお願い致します。

注：決済システム上、領収書（税額控除対象証明書）の発行が時期によってはご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承ください。

尚、ソフトバンクサイトでのご寄付につきましては、**自動的に匿名扱い**となってしまうこと、何卒ご了承くださいませ。



つながる募金

賛助会員・インターン・ボランティア・ を募集しています！

▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員(一口3,000円)を募集しております。毎月のニュースレターの他、SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへのご案内や特典、実施国の情報等を受け取ることができます。

▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員(一口10,000円)となっただき、緊急支援調査チームや防災啓発イベントの運営をお手伝いください。

▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討いただける方はrep@seedsasia.orgまでご連絡ください。[過去のイベントはこちら](#)

▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、防災教育に興味があり、活動を共に支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡をお願いします！

▼ボランティアをする

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。SEEDS Asiaに興味を持っていただいた方、環境問題や自然災害・防災教育などに興味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。翻訳が必要になった時やイベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡致します。



ニュースレターは会員の皆様その他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただいた皆様にお送りしております。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信ください。

認定NPO SEEDS Asia 日本658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 078-766-9412

[配信解除](#) [配信設定を変更](#)

今すぐ無料でEメールを送信

HubSpot